

事例) Uniam : 猫専門「フレッシュペットフード」

猫専門フレッシュペットフード 熱狂的ファンコミュニティ形成

「フレッシュペットフード」は合成保存料や着色料などの合成添加物を含まず、人間も食べられる新鮮な食材のみでつくったペットフード。ペット大国アメリカで2006年ごろから販売されるようになり、米ペットフード市場では全体の約11%を占め、年間平均伸長率は約29%と勢いのある市場になっている。ユニウムフードも23年2月に日本で取り扱いを始め、想定5倍の販売数を達成。背景には「フレッシュペットフード」の需要増と猫好きの熱狂コミュニティ形成がある。同社は多くのペットフード会社がいまだに「犬中心」の商品開発を行っており、一部の猫の飼い主はその現状に不満を抱えたことにも着目し、顧客への熱心なヒヤリングによって商品開発を行っている。



<https://uniam.jp/pages/fresh-food>

(High-protein food for cats)

ねこにはねこの、タンパク質たっぷりレシピ。

ユニウムのごはんは、ねこの身体特性に合わせて食材選びやその配合にこだわった、キャットファーストなレシピで作られています。まずは、肉食であるねこにとって最も重要な、タンパク質へのこだわりをご紹介します。

量にも質にも妥協なし。
ニンゲングレードの
お肉・お魚を贅沢に。

たっぷりなタンパク質で身体をつくらねこのため。量はだけでなくその品質にもこだわります。ニンゲンが食べるのと同じ、高品質なお肉とお魚を使用した高タンパク・低炭水化物のごはんを、毎日の健康な身体づくりをサポートします。

ねこにタンパク質が必要な理由

- 猫種・筋肉の成長維持**
動物や魚、肉類、豆類、海藻、卵など、タンパク質を多く含む食材を摂取することで、筋肉を維持し、健康を促進します。
- 飛び回るためのエネルギー源**
タンパク質から供給される代謝エネルギーは最大90%以上、炭水化物は10%以下といわれています。
- 代謝調節や免疫システム構築**
代謝を助ける酵素として働いたり、免疫から体を守る免疫細胞として働きます。
- 皮膚や被毛の健康維持**
タンパク質の最大30%が被毛を作るクラチン酸に使われます。



(C) 2023 Uniam, Inc.

7

ポイント

① 「フレッシュペットフード」の需要増加

フレッシュペットフードは従来のフードと比べて消化率が格段に良く、水分率も高いため、猫にとってはいいことづくめ。本場の米国では大型マーケットの冷凍食品売り場に陳列されるほど市民権を得ており、日本での需要もどんどん高まっている。

② 「熱狂コミュニティ」から生まれるアイデア

uniamは猫の飼い主特有のニーズに応えることで、猫中心の熱狂的なファンコミュニティを構築。顧客から得た情報をもとに商品開発を行っている。